

令和4年度 苫小牧市福祉ふれあいセンター 管理運営実績シート

内容	計画及び実績等		
事業計画概要	○施設運営に関する業務 ・平等な利用の確保と利用促進への取り組みの実施 ・地域のニーズや課題の解消につながる事業の企画及び実施 ○生活介護事業 ・誰もが安心して過ごし、光り輝ける居場所づくり （避難訓練の実施、職員研修の実施、利用者が楽しめるイベントの実施）		
事業計画の内、未実施の事業	なし		
利用実績	目 標		実 績
	【貸館等】		【貸館等】
	会議室等	9,200 人	会議室等 8,678 人 (対目標比 94.3%)
	体育館	4,100 人	体育館 5,683 人 (対目標比 138.6%)
生活介護	1,888 人	生活介護 1,658 人 (対目標比 87.8%)	
利用者満足度	利用者アンケート結果		
	満足	62.3%	やや不満 2.1%
	やや満足	12.6%	不満 1.9%
	どちらともいえない	19.2%	未回答 1.9%
事業費(自主事業を除く総額)	収 入		
	費目	予算	決算
	指定管理費	43,144,000 円	43,144,000 円
	利用料金収入	25,282,000 円	22,740,810 円
	その他収入	0 円	3,761,457 円
	〃(補てん及び補助金)	0 円	6,566,174 円
	合計	68,426,000 円	76,212,441 円
	支 出		
	費目	予算	決算
	人件費	39,841,000 円	39,312,747 円
	光熱水費	15,660,000 円	16,052,489 円
	修繕費	300,000 円	46,800 円
	委託費	4,405,000 円	3,944,308 円
	その他物件費	11,206,000 円	16,285,786 円
合計	71,412,000 円	75,642,130 円	

※新型コロナウイルス感染症の影響による施設のイベント中止等に伴う利用料金等の減収補填として令和4年度中に市から指定管理者に支払った補償金 4,408,239 円について、市の事務処理誤りにより、事業費収入の「その他収入(補てん及び補助金)」欄から記載が漏れていたため修正をしました。(誤) 2,157,935 円 → (正) 6,566,174 円

	計 画		実 績	
自主事業内容	<p>【地域食堂】 年2回・定員50人</p> <p>【ボランティア養成講座】 年2回・定員5人</p> <p>【障がい者スポーツ体験】 年1回・定員10人</p> <p>【サークルまつり】 年1回・定員なし</p> <p>【ふれあいセンターまつり】 8月開催予定・定員なし</p> <p>【地域交流会】 7月開催予定・定員なし</p> <p>【体験会（車椅子・音卓球等）】 年1回・定員10人</p>		<p>【地域食堂】 6/25 参加者75人 1/11 参加者50人</p> <p>【まちづくりサポーター養成講座（ボランティア養成講座）】 4/28・5/12・5/26・6/9・6/23 参加者延べ36人</p> <p>【障がい者スポーツ体験】 12/27 参加者30人</p> <p>【利用者作品展（サークルまつり）】 12/4～12/11、5団体参加</p> <p>【ふれあいセンターまつり】 9/17 参加者約500人</p> <p>【地域交流会兼車椅子体験会】 3/13 参加者18名</p>	
自主事業計画の内、未実施の事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型事業 			
	計 画		実 績	
職員研修等の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○職員研修 ○職員会議 ○視察研修（コミセン等） ○他現場交流 ○外部研修（障がいへの理解を深める研修等） 		<ul style="list-style-type: none"> ○新入団組合員研修（接遇・危機管理・制度等） ○虐待防止研修 ○法令順守研修 ○防災研修 ○障がいへの理解を深める研修 等 	
	計 画		実 績	
配置人員	施設管理	生活介護	施設管理	生活介護
	正規職員 3名	3名	正規職員 5名	4名
	パート等 8名	8名	パート等 6名	4名

指定管理者独自で行った工夫、取組等	<p>○利用者アンケートのほか意見箱の設置や直接利用者との対話を設けるなど、常にニーズを把握し、一緒に考え可能な限り速やかに改善するよう努めていた。</p> <p>○障がい特性を考慮し、案内表示や通知の発出方法などに工夫が見られた。</p> <p>○日常清掃業務や除雪、草刈等を自前で実施し、送迎車を大型のものから小型のものに変更するなど経費削減に努めていた。</p> <p>○館内屋外の美化、特にコロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して行っていた。(自動噴射消毒液の設置、トイレ内ペーパータオルの設置、利用者ごとの換気・消毒、利用者全員の検温記録、検査キットの購入、利用者への注意喚起及び協力依頼)</p> <p>○定期巡回により気づいた点を情報共有し、改善策を検討し速やかに実施していた。</p> <p>○町内会の行事への参加や、自主事業の運営において、地域との交流に努めていた。</p> <p>○避難訓練・不審者対応訓練等の実施、災害マニュアルの見直し、防災グッズの確認・追加購入を行うなど、利用者の安全を確保するための取り組みを強化していた。</p>
-------------------	--